自由が丘産能短期大学 校友会

Patio

JIYUGAOKA SANNO COLLEGE Alumni Association

SANNO ALUMNI ASSOCIATION

Vol. 102

2025年（令和7年）3月発行

PICK UP

学長インタビュー P.2

第44回定期代議員会
特別講演会及び
翌日オプショナルツアー P.9

埼玉群馬コラボ
酒蔵見学 P.13

第27回校友大会 P.14

ホームページ
リニューアル P.18

学長 × Message

自由が丘産能短期大学 学長

池内 健治

池内学長の今までの経歴と現在について教えてください。

本学に入職して32年になります。大学卒業後、楽器会社、コンピューターの会社を経て本学に入職しました。現在も授業を持ち、スクーリングも担当しています。

本学の歴史についてお聞かせください。

本学は、短期大学の制度が出来るとともに設立された歴史ある学校です。元々は夜間の社会人が学ぶ学校として作られ、その後、通信教育課程、大学、大学院が出来ました。なお日本で「能率科」という学科を設置している学校は本学しかありません。

学長が実際に学生に教えていたときのことを教えてください。

学生には大学を出てから改めて短大に入学した人もいれば、自衛隊で潜水艦に乗っていた人、いくつもの仕事をしている人、学校を終わった後にさらに仕事をするという人もいました。また様々な国の出身者がいて、とても優秀な方が多かったです。Ⅱ部が終わるのは夜の9時半くらいで、終わった後にさらに自由が丘で飲み会をするという猛者もいて、私も一緒に2次会まで行ったこともあります。

当時のⅡ部では、授業の一環としてテーマを決めて、産能祭に模擬店を出していました。おでんの屋台を出したある年は、とても暑い日だったためか一切売れずに大赤字だったなどということもありましたが、良い思い出です。

卒業生の皆さんには懐かしいことと思いますが、建て替える前の1号館の地下には「サンム」という売店があって、教科書を買ったり、夜勉強する人はそこでおむすびなんかを買って食べたりもしていましたね。そこでは調理もしていて、喫茶店のような感じでした。地下には卓球台もありました。

20年くらい前には学生全員にノートパソコンを持ってもらった記憶があります。これは日本の大学の中でも初めてくらいだったと思います。I部の学生は、入学する前に先輩(在学生)にパソコンを教えてもらう「入学前授業」もしていました。結構重いパソコンでしたが、TV番組で「学生が自由が丘の街をパソコンを持って歩いている!」と取り上げられたこともありました。

学長として意識していることを教えてください。

教員は「上司・部下」の関係ではなく、仲間として一緒に協力しながら教育をしていくということです。私が入職した時には、1つの授業を教員2名で担当する「共同担当」という制度がありました。そうすると新任の教員はだんだんスキルが上がり、学んでいくことによって良いものになっていきます。

先生の趣味は何でしょうか?

弓道と合気道、革細工もやっています。自転車にも乗っています。それから料理を作ります。冷蔵庫を覗いて、そこにある材料で何でも作ります。料理を始めたのは、学生時代に何か月間か万座のスキー場のホテルでアルバイトをしていて、板前さんに包丁の使い方や盛り付け方などを教えてもらったのがきっかけです。朝と夜だけ働いて昼間はスキーが出来て楽しかったです。

趣味の革細工作品

ご自身ではどのような性格とお考えですか?

いいかげん、「好い加減」です。でも細かくて片付け好きです。料理を作ったら必ず洗い物をします。物を作るのも好きです。だから革細工をやってます。

どのようなテレビを見ますか?

私はテレビはあまり見ないんです。YouTubeを見ています。最近だと大学ラグビーの試合に感激しました。それから朝起きたら「Siri」に話しかけてお天気を聞いてます。ちなみに家にはペットロボットの「アイボ」もいますよ。

生まれ変わったらどのような仕事につきたいですか?

落語家になりたいですね。それから以前水泳をやっていて、潜るのが好きなので潜水夫かな。

目標にしていることは何ですか?

楽しく生きることです、面白おかしくいきたいと思います。京都にある堀場製作所が「おもしろおかしく」を社是にしていて、「生きがい、働きがいをもって“おもしろおかしく”過ごすことには絶対的な価値がある」と言っています。

最後に、校友会員、学生へメッセージをお願いします。

色々な大学に同窓会がありますが、なかなか人が集まりません。でも本学の校友会はいろいろな人が受け入れられています。入学した時から様々な年代の人がいるから、入り込みやすく、また集まりやすくて、とても良いことだと思います。在学生の皆さんには、ぜひとも在学時から校友会のことを知ってもらって、校友会に参加してもらえるように、これからもしていきたいと思います。

会長山本と副会長辻村がお話を伺いました

建学の精神

本学建学の精神は
マネジメントの思想と理念をきわめ
これを実践の場に移しうる能力を涵養し
もって全人類に幸福と繁栄をもたらす人材を
育成することにある
時流におぼれず 慣習にとらわれず
独断を排し 常に真実を求めつづける人間こそ
本学の求めるものである
この見地に立って 本学は単なる学術の
修得のみに終らず 広く世界に目を向け
ほかの意見を尊重し 自分をいつわらない
誠実な人格の形成に努力する

「能率の父」上野陽一（1883-1957）

能率とは…

創立者である上野陽一先生は、日本で初めてマネジメントコンサルティングを行い、それを発展させ、日本の風土に合わせた能率の学問を打ち立てました。そして、目的と手段がうまく釣り合いバランスがとれた状態を「能率」と定義しました。

宅習の人、スクーリングを受ける人など、形態は一律ではないものの、全ての学生が、入学して概ね早い時期に上野先生の足跡をたどることから始まり、時系列的に「能率とマネジメント」について学びます。その学びの中で、「知識は実際の役に立ってこそ価値があること」が腑に落ちた瞬間があったのではないでしょうか。

能率学原論
上野陽一 著

本学の起源「日本産業能率研究所」

上野先生は、心理学から産業心理学を経て、科学的管理法を始めとする経営学を研究され、1920年に企業において、日本初のコンサルテーションといわれる経営指導を行い、後に「能率の父」と称されました。

その後、1925年に「日本産業能率研究所」を設立し、自らを「能率技師」と称してマネジメント理論と方法を研究、実践すべく指導に当たりました。この研究所こそが、本学の起源となるものです。今年2025年は、研究所設立から100年に当たります。

設立当時の講義風景

オチボ会

1937年、上野先生を囲む会として発足し、1941年には全国的な組織となりました。先生の能率哲学の礎となった「能率5道（正食・正坐・正学・正信・正語）」はこの会での講義から生まれました。

オチボという名は、先生の「落ちた稲の穂から、活かせるものを活かして使う」という想いが込められており、能率の心持ちを表しています。

2023年に作成された新エンブレムは、このオチボがモチーフとなり、大学校友会、大学通教校友会とともに校友会共通のエンブレムとして広く使用されています。

SANNO
ALUMNI
ASSOCIATION
新エンブレム

オチボ会のマーク
（出典:上野陽一傳 P.176）

産能大の評価

上野先生の教えは100年の間に、短大で学んだ皆さんに連綿と受け継がれ、さまざまな場で実践されています。
また、スポーツや文化交流においても卒業生や現役学生が活躍しています。

◎2024FISUビーチバレーボール世界大学選手権で本学卒業生ペアが5位入賞
◎2024年7月、ウズベキスタンJDU（Japan Digital Univercity）の学生が本学を訪問
「歓迎の集い」を開催し、座談会や意見交換、キャンパスツアーなどで交流を実施

さらに、サンデー毎日の「おすすめ大学」ランキングで、2項目が全国トップ10に入りました。

◎「小規模だが評価できる大学」　第8位（東京地区4位）　◎「面倒見が良い大学」　第8位（東京地区4位）

（※いずれも産能大　学内報記事より）

卒業しても産能生

科目等履修生制度をご存知ですか?
卒業しても“産能生”として母校で学習することが出来ます!

科目等履修生制度とは?

本学(自由が丘産能短期大学及び産業能率大学)の通信教育課程が開設している授業科目を任意に履修することができる制度です。
経営、ビジネス、マーケティング、心理学、歴史、英語など、50科目以上の中から自由に選択し、単位を取得することが出来ます。

▶**履修資格**:満18歳以上の方
▶**履修期間**:1年間(前学期4/1～翌年3/31、後学期10/1～翌年9/30)
▶**学費**:登録料 7,000円(本学を卒業した方は免除になります)
受講料 2単位科目10,000円／4単位科目20,000円
▶**受講単位数**:出願時には1科目以上の登録が必要
出願時に申し込みができる授業科目数は9科目まで(1年間で履修できる単位数の上限は32単位まで)

科目等履修生のメリット

◎スクーリングの受講が出来ます。
◎本学図書館の利用が出来ます。
◎本学の科目等履修生を修了した後、新たに正科生として本学に入学する場合、書類選考料(10,000円)が免除されます。
◎本学の科目等履修生として修得した単位は、入学時30単位を上限に卒業要件単位数に算入することができます。

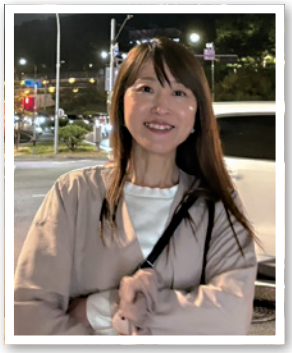
注意事項

◎直近の2年間で、科目等履修生としての履修を許可されていたにもかかわらず、学修履歴(=リポートの提出、科目修得試験の受験、面接授業(スクーリング)の受講のいずれか)がない方は、履修資格はありません。
◎**出願は郵送のみ**となっています。(インターネット出願は不可)
本学へ「郵送による資料請求」を行い、入学志願書と必要書類を郵送してください。

資料請求は本学ホームページ、またはこちらから(窓口・電話でのお問い合わせ)
TEL:03-3704-1436
担当:通信教育事務部 通信教育広報課
受付時間(窓口・電話):月木金土日　9:00−17:00　※火水祝日除く
＊2025年度の授業科目は下のリンク先、またはQRコードからご確認ください。
https://www.sanno.ac.jp/tukyo/admission/guidelines/l7h00o0000000xbr-att/t_kamoku2025.pdf

科目履修経験者の声

神奈川県
三宅さん(2024年3月卒業)



自分のペースで、好きな科目を自由に学べる環境は本当に魅力的です。「これが知りたい」「もっと深く学びたい」と思う科目を自分で選ぶので、自然とやる気がでますし、学ぶこと自体が楽しくなります。卒業資格を取るためではなく、自分の興味にフォーカスして学べるからこそ、学習する事が充実して感じられます。

さらに、時間に余裕を持ちながら学べるのも嬉しいポイントです。日々の生活、仕事、趣味、遊びなど、やりたいこととバランスを取りながら無理なく進められるため、学ぶことが負担になりませんし気楽に続けられます。また、途中で「これも学んでみたい!」と思ったら追加で履修もできるので、柔軟に対応できるのがありがたいです。

学びを続けている理由は、何といっても「せっかく身についた学習習慣をなくしたくない」という気持ちからです。1年間やってみて、学ぶことが楽しいと感じました。それにまだまだ知らないことや学びたい科目がたくさんあるので、これからも挑戦したい気持ちが止まりません。

現在、東京FP学生会のスタッフの一人として会計を担当しているのですが、在学生として扱われるので学生会のスタッフとして活動する機会もありますし、友達との交流もそのまま楽しめるのが嬉しいです。在学生と卒業生の中間みたいな立ち位置で、両方のいいところを味わえるのがこのスタイルの魅力です。

私は大学・FPコース3年生に編入学して卒業した後、短期大学と大学の両方に興味がある科目があったので、それぞれの科目等履修生になり1科目ずつ選んで学んでいます。興味の幅を広げながら楽しく、自分のペースで進められる環境に満足しています。軽い気持ちで飛び込んだ科目等履修生ですが、楽しさと充実感が想像以上でしたので、翌年度も継続することにしました。もし科目等履修生に申込を迷われている方がいらっしゃったら、ぜひ一緒にチャレンジしませんか?きっと正科生の時と違った充実感を感じられると思います。

ガストロノミってなに??

自由が丘産能短大はマネジメントを学ぶ短大ですが、科目の中にはユニークで興味深いものが沢山あります。たとえば、最近では『ガストロノミ(ワインと食文化)』。

この科目では、ワインの基礎知識から始まり、料理、レストラン、そして食文化へと視野を広げながら学んでいきます。授業は、フランスを中心とした各国の地理や気候、さらには歴史にまで及ぶ幅広い内容です。

さらにスクーリングでは、最終日に各種ワインのテイスティングとチーズを味わう体験授業が行われます。まさに社会人のための学校ならではの授業といえます。楽しく学んでいく間に飲食についての文化が理解でき、教養として身についていきます。

『ガストロノミ』の他にも、ひと昔前には『体育(ゴルフ)』、現在では『教養としての音楽史入門』、『ストリートファッション論』など多くの科目が設定されています。

履修を通して、新しい世界と出会い、学ぶ楽しさに目覚める醍醐味を味わうことができ、ひいては、多角的に物事を考えるマネジメントが体得できます。

さて、ここで、卒業生と現役学生に短大での学びについてお伺いしました。

「短大卒業は私の中の金メダル」

卒業生

山陰支部　鳥取県
田村さん(1979年通教卒)

私の前職は、陸上自衛官です。全ての自衛隊で自己啓発が奨励され、各種免許や資格取得の便宜が図られていた時期のある日、自衛官を退官された方が勤務先の米子駐屯地を訪問され、産能短大での通信教育を促されたことが入学のきっかけです。

37歳でそろそろ脳の退化が始まりだそうとする頃で、迷いましたが、家族や周囲の勧めもあり入学を決意しました。米子駐屯地で約50名の集団入学でした。学生生活では長らく遠のいていた英語や数学などの「一般教科」にかなり苦戦を強いられましたが、同期入学の仲間の援助を受けて何とかレポートを提出することができました。

必須とされていた「スクーリング」は、駐屯地内と短大のキャンパスの2か所で学びました。駐屯地では2か月毎に行われ、私たち生徒は講師先生の送迎などに携わりました。また、キャンパスでのスクーリングは、米子からキャンパス近くの駐屯地へ部隊のトラックで上京、そこで宿泊をするという生活をひと月余り続けました。

お陰で、3年間で無事卒業できました。恵まれた環境で学べたことに、今あらためて感謝しています。卒業時は釧路駐屯地勤務で、米子の仲間と喜びを分かち合うことが出来ず残念でした。現在、山陰支部に私を含めて5名の同期生が在籍しています。

本学の通信教育の他に、数多くの免許や資格を取得しました。しかし、何にも増して大収穫といえるのは、短大を卒業したことです。これこそが「私の中の金メダル」です。

世の中は目まぐるしく変化し、通信教育もオンラインが主流となりつつある中、我々アナログ世代もデジタル化の波に乗り遅れないように努力していかねばなりません。学生時代に身につけた『日々研鑽を重ねること』が、様々な場面で今でもしっかりと活かされています。

宮城県
高橋さん(2023年10月入学)

現役学生

「様々な分野の教養を学んでいます」

授業の代表的な科目として、ガストロノミ(ワインと食文化)、ストリートファッション論、教養としての音楽史、教養としての落語、教養としての茶道、USJに学ぶマーケティング思考などがあり、多岐にわたるところが特徴だと感じています。

スクーリングは、自宅等でパソコンを使用しインターネット上で受講可能なオンラインスクーリングが半数以上の科目にのぼり、通学でのスクーリングがほとんど必要がないほどです。とは言え、通学でのスクーリングもあり、私は東京会場のガストロノミと大阪会場のストリートファッション論を受講しました。

特にガストロノミでは通常授業だけでなく、ホテルのレストランでフランス料理とワインを嗜み、酔いも手伝ったのか、受講生同士が楽しく短大生活の話で盛り上がったことが印象的でした。3年次では日本酒の講義もあると聞かされ、卒業後はさらに先へ進みたいと考えています。

スクーリングの形式では他に、上期と下期に1回ずつ、録画映像を自分の好きな時間にみて受講可能なネットスクーリングもあり、現代社会の便利さに感動すら覚えます。

スクーリングはオンラインでの申し込みとなっていて、基本レポート提出や科目修得試験を受験をしなくても単位が取れるため、人気の科目は募集開始当日の午後には定員となってしまい、申し込みができないことも多いです。実際に私も2回ほど定員で申し込みができず、学習計画の変更をしたこともありました。

科目修得試験については、オンラインでの受験となっていて、テキストのみ閲覧可能です。

穴埋め問題が5割程度ありますので、テキストが見られるのは非常に助かります。

最近は科目修得試験に学生証の写真とデバイスカメラなどで自身の顔を照合する顔認証が導入されました。これにより、科目修得試験中にデバイスのカメラで自分の映像を映さなければならない試験が半数以上となりました。試験での違反行為を防止する目的ですが、慣れるまで少し時間がかかりそうです。

©1993 SHONAN BELLMARE Co.,LTD.

湘南ベルマーレ サッカーチーム × SANNO との提携

産業能率大学は2004年より湘南ベルマーレと提携し、協力して様々な活動を行っています。
湘南キャンパスのある伊勢原市を含む9市11町をホームタウンとするサッカーチーム「湘南ベルマーレ」。
湘南ベルマーレは、日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）に加盟し、現在はJリーグのなかの最上位カテゴリーである1部リーグ（略称・J1）に所属しているサッカーチームです。産業能率大学では湘南ベルマーレと提携し、スポーツとマネジメントを融合させ、教育分野での新たな試みを実践し、スポーツを通じた人材育成や地域貢献に10年以上前から協働で取り組んでいます。

1 共同事業

●**様々な授業科目の共同開発**
「スポーツビジネス実践講座」での、湘南ベルマーレの持つ幅広いネットワークやノウハウを駆使した実践的な授業や、学生が湘南ベルマーレのフロント業務を体験する「スポーツビジネス・インターンシップ」など提携によって生まれた数々の取り組みの実現。

●**クラブ活動の充実**
サッカー部へのプロコーチ招聘やクラブの強化への取り組みの連携。

2 ユニフォームパートナー

湘南ベルマーレのオフィシャルスポンサーとして、ベルマーレのユニフォームの背中に「産業能率大学」の名前の掲示。

3 産業能率大学スペシャルデー

年に1度、スポンサーである産能の名を冠しての試合を開催。
毎年、学生が主体となって実行委員会を立ちあげ、試合を盛り上げる施策を展開。

産業能率大学オリジナルグッズの一般販売について

卒業生、在学生の方をはじめ、本学にご縁のある皆様にお使いいただける「産業能率大学オリジナルグッズ」（通称SANNOオリジナルグッズ）をオンラインでご購入いただけます。
各商品の詳細や購入方法につきましては、産業能率大学出版部のホームページでご確認いただけますので、ぜひご利用ください。
https://www.sannopub.co.jp/

グッズページへのアクセス方法
ご購入は、産業能率大学出版部ホームページ内のECサイトをご利用ください。左記URLまたはQRコードでサイトにアクセスし、トップページ上段の【SANNO Original goods】または【Pick Up産業能率大学オリジナルグッズ ONLINE STORE】の画像をクリックしてください。

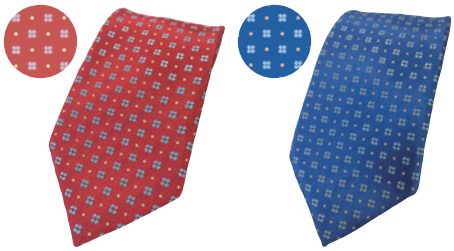
ECサイトをご利用できない場合のお問い合わせ先
㈱産業能率大学出版部（TEL:03-6432-2536）

SANNOオリジナルグッズ おすすめ商品 ※表示価格は税込・送料別

SANNOオリジナルスカーフ（赤・青）¥8,000

首に巻いたり、バッグに付けたり、普段使いしていただけるドット柄の色鮮やかなスカーフ。
本学の校章やエンブレムに用いられている「アメリカ・ハナミズキ」をワンポイントで入れています。
サイズは約30cm×約130cm、シルク100%製です。

SANNOオリジナルネクタイ（赤・青）¥6,000



本学の校章やエンブレムに用いられている「アメリカ・ハナミズキ」を全体に施したデザインのネクタイです。
白いシャツによく映える鮮やかな色合いです。
長さは約143cm、シルク100%製です。

校友会エンブレム ピンバッジ ¥900

エンブレムは、本学創立者　上野陽一先生を囲む会として1937年に発足し、1941年には全国的な組織となった「オチボ会」のマークをモチーフとしています。大きさは縦25mm、横17mmです。

大学からのお知らせ

ご寄付について ～創立100周年に向けて 皆様からのご支援をお待ち申し上げます～

学校法人産業能率大学は2025年に創立100周年をむかえます

学校法人産業能率大学は1925年に創立者上野陽一先生が創設した「日本産業能率研究所」に始まります。その後、1950年に産業能率短期大学（現・自由が丘産能短期大学）、1979年に産業能率大学を開設し、来る2025年に創立100周年の節目を迎えることになりました。
現在、本学では創立100周年に向け、教育環境の一層の充実をめざして皆様からの寄付金を募っております。
本学は上野陽一先生の意思を継ぎ、これからもマネジメントの思想と理念をきわめ、これを実践の場に移しうる人材の育成に邁進するとともに、より一層教育環境を充実させるため、皆様から頂戴した寄付金はそれらの活動の財政基盤に充てたいと考えております。

さらに税制上の優遇措置を受けていただけるようになりました

寄付された方々がより税制上の優遇措置を受けることができるように、本学は「税額控除対象法人」の証明を文部科学省から受けました。
個人の方から本学へご寄付をいただいた場合、所得税の控除が受けられ、「税額控除」または「所得控除」のいずれかを選択することができます。控除額は、個人の所得・税率・寄付金額などの条件によって異なりますが、多くの方の場合、所得金額から直接控除される「税額控除」のほうが、還付金が多く戻ります。
寄付者の方は確定申告の際に「所得控除」と「税額控除」のどちらかを選択して所得税の控除を受けてください。

寄付金控除の手続きは、寄付をした翌年の確定申告期間に、本学発行の「寄付金領収書」と「寄付金控除にかかる証明書（写）」を所轄税務署に提出して確定申告を行い、所得税の還付を受けることになります。確定申告についてのご相談は、所轄税務署へお問い合わせください。

【お問合せ先】（学）産業能率大学　総務部総務課（寄付金担当）
受付時間：平日 9:00 ～ 17:00　TEL：03-3704-9030　E-mail：sannokifu@hj.sanno.ac.jp

同封の払込取扱票（寄付金用）またはインターネットからご寄付いただけます

（インターネットからの支払手順は下記をご参照ください）

F-REGI

▶https://www.sanno.ac.jp/abmin/bokin/
スマートフォンの方は、右の QR コードもご利用いただけます。

産能募金 ［検索］ click

募金活動について
ページの一番下のリンク click
▶募金の受付け

▶「F-REGI 寄付支払い」 click
（別ウィンドウが開きます）

▶クレジットカード決済 Credit Card
▶コンビニ決済 24
▶銀行決済（インターネットバンキング） BANK

クレジットカード等による寄付について
本学では安全に寄付をしていただくために、株式会社エフレジが運用する「F-REGI 寄付支払い」システムを採用しています。
「F-REGI」は全国約 100 の大学等でも利用しているシステムですので、安心してご利用いただけます。

寄付金募集

～ご寄付をいただきました皆様へ～ ご協力ありがとうございました

本田　正悟　様	占部 恵津子　様	奥　陸博　様	柴田 まさみ　様	大石　典利　様
佐藤　邦子　様	小島　優子　様	川口　ゆかり　様	波多野 年晃　様	井上 優香子　様
持木　宏　様	西森　由紀　様	塩川　好子　様	内田　雅幸　様	久保　健吾　様
妹尾　悟　様	西尾　廣幸　様	安藤　進　様	千葉　利郎　様	吉岡　功雄　様
加瀬 美代子　様	関　大康　様	伊藤　剛　様	塩澤　達也　様	竹内　宏　様
新津　輝行　様	楢　和也　様	宮下　英志　様	藤本　一秋　様	松岡 美佐子　様
山本　茂　様	町山　茂　様	村山　厚子　様	鈴木　壮文　様	山田　忠　様
青野　真帆　様	松井　進一　様	平石　俊夫　様	亀田　康司　様	河本　賢治　様
山口　勝彦　様	竹尾　康子　様	髙山 多喜子　様	引地　美里　様	宮武　眞照　様
熊谷　宏子　様	寺岡　芳美　様	光岡　明子　様	富里 由加里　様	嘉数　治代　様
森下　博　様	古山　美喜　様	客野　三省　様	塚口　裕彦　様	この他に、匿名希望の43名の方々からご寄付をいただきました。
塩見　幸　様	品川　信行　様	辻村 貴惠子　様	大場　優光　様	
茶畑　光洋　様	牛山　裕一　様	小林 久美子　様	山田　和宏　様	
田中　弘一　様	金子　絵美　様	黒河　正貴　様		

（2024年1月～2024年11月お申込み受付分：順不同）

会長挨拶

世代、地域、ジャンルを超えたSANNOの絆の実現に向けて

山本 裕一
自由が丘産能短大校友会会長

テクノメッセには現役学生の方もボランティアとして参加協力頂きました。来場者は3日間で約1万人。

私が会長に就任して6年となりました。就任初年度からコロナ禍となり、校友会活動が制限されましたが、逆にこれまでの慣行、価値観を見直すきっかけにもなりました。主なものとして

①人と人の繋がりは対面から始まる（オンラインだけでは広がらない）
②「卒業したら校友会」ではなく、「入学したら校友会」
③会員同士の交流に社会貢献を取り入れ、参加者層を広げる

詳細をご説明すると、①は、コロナ禍でオンラインセミナー等を行いましたが一方通行に終わりました。よって、対面こそが重要で、地元で気楽に参加できる場の必要性を感じ、休眠支部の再開に乗り出しました（*詳細は「みなし支部始動」参照）。

②は、新入生が入学したら校友会に入るという意味ではなく、校友会の存在を知って頂くという意味です。コロナ前の謝恩会で200名位の卒業生1人1人に校友会のご案内をしましたが「校友会って何ですか?」と多くの卒業生から質問されました。よって、在学時から校友会の存在を知って頂きたく、本部では2023年より学生支援プロジェクトを立ち上げ、学生会、学生会のない地域の学生を支援し、翌年には正式に本部の部会（学生支援部会）として、部会メンバーに現役学生も入って頂き共に支援活動を行っております。結果、若い世代からも校友会にご参加頂けるようになりました。

③は、親睦交流だけではなく、社会貢献活動も今年度から取り入れました。トップバッターは昨年10月に岩手支部に「きたかみ・かねがさきテクノメッセ2024」にご参加頂き、母校の入学案内を行って頂きました。

なお、6月21、22日は名古屋、岐阜にて社会貢献に関連した企画を開催致します。皆様のご参加をお待ち申し上げます（*9ページ参照）。

みなし支部始動

校友会には全国に支部がありましたが、長らく休眠状態となっていた栃木、山梨、北陸（石川・福井）、中九州（大分・熊本・宮崎）のエリアにおいても、昨年度からみなし支部制度が導入されたことにより支部活動が始動、全国に支部が揃いました。

みなし支部とは、本来、地元在住者で構成される支部に対して、本部が臨時的に直轄し運営を行う支部を指し、手始めに今年2月に熊本で外部講師をお招きして竹林問題についてご講演頂き、さらに宇都宮（栃木）にて宇都宮餃子を食べる企画を行う予定です（*詳細は校友会ホームページをご覧ください）。山梨、北陸については近日中にイベントを開催致します。

上記地域在住者、もしくは関心のある方は、下記QRコードから登録をお願い致します。随時詳細をご案内申し上げます。

QRコードを読み込めない方は下記URLから申込をお願いします。

https://is.gd/h7ITmP

岐阜支部、士会（さむらいかい）関西 が発足しました

今年1月に岐阜支部が発足し、支部長には奥田真也さんが就任しました。また、隣接する中京支部支部長には岩本朋大さんが就任し、現支部長の中で32歳の最年少支部長となります。なお、新支部長となられた奥田さん、岩本さんには6月21日の特別講演会で講演頂きます（＊下記参照）。

また、昨年7月に関西支部総会において有資格者が意気投合し、士会関西が発足。

11月には大阪で士会関西発足セミナーが開催され、40名の方にご参加頂き盛大に終わりました。今後の活躍もご期待申し上げます。

（＊士会とは有資格者等で構成される校友会認定グループです）

11月17日 士会関西発足記念セミナー

講師4名、学長、会長、本部理事と記念撮影

6月21日（土）特別講演会 及び 翌日オプショナルツアーのご案内

このたび名古屋市内で代議員会（＊各支部支部長など校友会役員で構成された組織）開催確定に伴い、下記講演会及びオプショナルツアーを開催する運びとなりました。講演会終了後には、懇親会も行いますので併せてご参加ください。

日時：2025年6月21日（土）

講演会 15：45～16：45（＊受付15:30～）　参加費　無料
懇親会 17：00～19：30（＊懇親会からの参加も可）　参加費　¥3,000

場所：ウインクあいち（予定）＊詳細案内は校友会ホームページに掲載します。

中京支部 岩本支部長

岐阜支部 奥田支部長

【講演会】テーマ：過疎化問題を知り、私たちが今できることをはじめよう

1.「岐阜県内人口移動の要因の実証分析」　中京支部支部長　岩本朋大（名古屋学院大学経済学部講師）
2.「岐阜県 山県学園構想とは」　岐阜支部支部長　奥田真也（山県市市議会議員）

都市部在住者には「過疎化」と聞いてもピンと来ないかもしれませんが、2020年の国勢調査において過疎地域指定自治体が51.5%と初めて半数を超え、2050年には6割の自治体で人口が30%以上減ると推計されています。このような状況下において過疎化拡大防止対策に取り組んでいる自治体があります。それが岐阜県山県（やまがた）市の「山県学園構想プロジェクト」です。過疎化地域において小中学校は統廃合するのが通常ですが、その地から小中学校が消えることは、子育て世代が離れ、結果高齢者だけが残る町となります。同市ではこのような負のスパイラルを断ち切るため9校ある小中学校を統廃合せずに1つの学園として運営する取り組みを行っております。

講演会では、現状を正しく理解するために「過疎化問題」及び「山県学園構想」についてお話しいただきます。また翌日には、“現地に赴き自分の目で見て触れること”を目的に、オプショナルツアーを企画しました。1人でも多くの方がこの問題を認識することで新たな気付きに繋がり、新たな手法が生まれる可能性もあります。私たちが現地に伺うことでわずかながらでも経済効果へのお役に立てればと思います。まずは今、私たちができることから始めませんか。

【オプショナルツアー】岐阜城&山県市訪問バスツアーのご案内
～山県市の子どもたちにお菓子のプレゼントを～

山県市は名古屋駅から車で1時間少々のところにある自然豊かで水がとてもきれいなところです。当日は大型バスをチャーターして、山県市ツアーを開催します。訪れる機会もなかなか得られないツアーです。この機会に是非ご参加ください。

日　時：2025年6月22日（日）JR名古屋駅近辺に 8：00集合・出発
定　員：50名（＊定員になり次第締め切りとさせて頂きます）
参加費：¥6,000（往復のバス代、昼食代、岐阜城入場料等含む）
解散地：JR名古屋駅 16時半前後を予定しております。（＊交通渋滞等で遅れる場合もございます）
訪問ルート：山県市に行く途中に岐阜城、長良川温泉街がありますので、こちらの観光も予定しております。山県市にて昼食、道の駅にて地元名産のお買物をお楽しみください。（道路状況により内容が変わる場合もございます）

申込先：QRコードから申込をお願いします。
（QRコードが読み込めない方は右記URLから申込をお願いします　https://is.gd/kispr6）

＊詳細は、QRコード申込先、又は校友会ホームページからご確認いただけます。
＊少量少額で構いませんので子どもたちへのお菓子をご持参頂けましたら幸いです（任意）。

New Group

校友会は、各都道府県の支部とグループが活動しています。
今回あらたなグループのリーダーとして活動を始める折橋さんにお話を伺います。

埼玉学生会／
2023年度卒の会（仮称）リーダー
折橋 庸介さん

Q 新しいグループについて教えてください。

2023年度に自由が丘産能短大を卒業された方をベースにした組織で、グループの名前は「2023年度卒の会（仮称）」です。立ち上げてまだ数か月ですが、現在40名を超えました。卒業後でも同期の絆が継続できるよう定期的な交流を提供し、同期に限らず諸先輩、支部、そして後輩の支援も実施して、校友会の発展に寄与する会を目指しています。

Q 折橋さんは、埼玉学生会のリーダーもされていますね。産能大通教で学ばれ、会社にお勤めされ、ご家庭を持ち育児をされ、そして新しいグループの立ち上げと多岐にわたるご活躍ですが、どうやって時間を作っているんですか。

■勉強時間の作り方について

各タスク毎（*）に専用のスケジュール表を作成し随時進捗管理をしながら両立を心掛けています。（*仕事:月間スケジュール、学生会:年間イベント管理表、勉強:学習計画表、家庭:年間行事など）あとは毎日コツコツ、隙間時間を見つけてはテキストを通読し勉強をしています。

■会社の理解について

本学での学びは全て会社のおかげです。私は現在32歳で社歴でいうと15年目になりますが、会社からの支援を得て経営学を学ばせていただいております。本校で学んで得た経営の知識を実際に学生会や校友会を通じ、コミュニケーション力やHRM、組織の運営方法など種々の経験を実地で体験出来ているからです。本学に入学できていなかったら、このような学びのチャンスや経験もなかったわけですから会社には感謝しかございません。

■家族の理解について

まず一番は、家族あっての仕事、家族あっての学生会です。私には二人の愛娘（2歳、7歳）がいますが、休日は勉強に明け暮れているため、せめて平日くらいは娘との時間を長くとれるように意識し、会社の業務はなるべく定時で退社するように努力しています。妻については、このような経験は今後できないだろうからと容認してくれています。実際に妻も校友会イベント（校友の集い）にも参加していますし、家族の理解もあり大変助かっております。

Q 埼玉学生会は年間たくさんのイベントを開催されていますね。ご苦労も多いと思いますが、印象深いイベントについて教えてください。

■印象深いイベントについて

ご存じの通り、今年は対面イベントとして下記のとおり8回（*）行いました。
（*3月:卒業パーティー、4月:前期新入生歓迎会、6月:ワインセミナー、7月:社労士セミナー、8月:ビアガーデン、10月:後期入学式、11月:統計学セミナー、12月:Xmasパーティー）

その他、2024年の9月よりZoomにてオンライン交流会を月に1回主催しています。イベントについてはそれぞれが良い思い出ですが、一番印象深いイベントは12月に行ったXmasパーティーです。埼玉学生会以外に東京FP学生会と短大校友会の3団体の共催でしたので、運営スタッフも約30人と大所帯でした。日ごろからコミュニケーションを密にし、大きなイベントを1から作り上げ、少しずつ形になり最終的に114人もの参加者に恵まれ、大盛況に終わった時の達成感や成功体験は学生会のスタッフに入らないと得られない経験だと思います。最終的な私の目標は各学生会の垣根を越え、【ALL産能】とし卒業という同じ目的をもった同士を大切にしようと思っています。【通信教育は、孤独との戦い】です。今まで一人で勉強をし、仲間と交流が深められず悩んでいた在校生の方も一定数いると思います。私もそのうちの一人でした。しかし、埼玉学生会に所属してから沢山の経験や世界観、多くの人脈も広がり勉強に対するモチベーションもあがりました。これからも横のつながりを大事にし仲間を増やして、より良い学生会の運用を行ってまいります。気兼ねなく話せる今のスタッフは、私の中では家族みたいな存在です。

Q 最後に校友会とのつながりについて教えてください。

校友会とのつながりは、2023年4月の新入生歓迎会でスタッフとして参加していた際に、山本会長と牛山副会長が気さくに話しかけてくれたことがきっかけで校友会の存在を知りました。お二人は初対面から優しく、とても頼りになる存在だったのを今でも鮮明に記憶しております。その後、今まで数々のイベントを共催し、他学生会とも信頼関係を築くことができました。また去年同様、今年もXmasパーティーでは沢山のご支援をいただきました。大変感謝しております。また、人脈においては大学の鬼木学長をはじめ、短大の池内学長や現役の先生方、社長方、市議会議員の方など幅広い業種の人を紹介していただき、横の繋がりも増えました。現在は3年次編入し埼玉学生会のリーダーを兼任しながらなので、微力ではございますが校友会の活動にも尽力してまいりたいと思います。

産業能率大学 自由が丘産能短期大学
通信教育課程 入学式にて学生会紹介

埼玉学生会・東京FP学生会・短大校友会 共催 2024クリスマスパーティー

学生会の復興
東北宮城学生会の歩み
2025 TOHOKU MIYAGI

東北地区の学生会は過去各県に存在した歴史があるとの噂ですが、すべての地域で長らく休眠状態が続いていました。山本裕一現校友会会長が2019年4月に「宮城学生会」から「東北・宮城学生会」へ改名し東北6県の学生会として新たな出発を試みました。その後、川尻健二リーダーへと引き継ぎ、2024年から第3代目の市川真理子リーダーが就任、現在に至っては登録者が100名近くに増加しました。長年の校友会の皆さま、東北エリア各支部の皆さまのご支援、お力添えを頂きながら、2025年現在も東北の地で学生同士の交流や情報共有、活躍の場として、地域に根付く学生会を目指し取組んでいます。

仙台学習会、松島観光イベント実施
2024.10.5-10.6

東北宮城学生会では10月5日(土)～10月6日(日)の2日間、仙台学習会および懇親会、宮城の誇る日本三景松島観光ツアーを開催しました。学習会講師は2023年度功労賞を取得された東京FP学生会リーダーの江田夏津稀さんと、常に江田さんを支えておられる東京FP学生会スタッフの三宅ひとみさん2名の学生を招聘し、下記テーマについてお話しいただき、講師のお二人とともに学生同士の交流を深めました。学生が講師となる初めての試みとなりました。

◎江田夏津稀さん／私の勉強方法
◎三宅ひとみさん／楽しいSANNOライフをゲットしよう

10.5 〈学習会〉

14：15 受付開始（会場13：45～16：45）
14：30 学習会 SPACEE
16：00 質疑応答
16：30 退室
17：00 懇親会 集合朗はなれ

10.6 〈松島観光〉

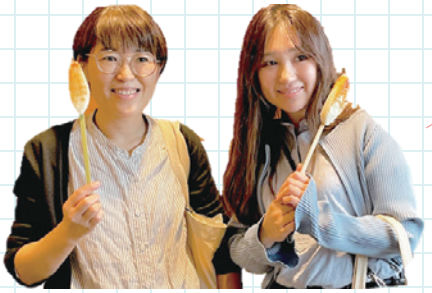
11：00 松島海岸駅集合　@松島散策
12：00 ホテル大観荘バス／松島海岸駅 @ランチ
ランチ／ホテル松島大観荘和食処天正
旬のあなご御膳
14：00 ホテル大観荘バス @松島フェリー
松島フェリー遊覧船／Teaタイム　観光案内
14：40 @蒲鉾焼体験
15：20 @焼牡蠣体験
16：00 @解散

◎東北宮城学生会2024年度活動実績◎

◆1/27 学習会開催「多文化社会における国際教養を身につけるための考え方」
■講師 ： 池田るり子先生 ■経営学部教授／学位 ： 準博士（人間発達心理学） Harvard University, Graduate School of Education,懇親会／仙台
◆5/11 ZOOM集会　オンライン相談会
◆7/20 学習会開催「性格タイプから考える“モチマエ”の再考」
■講師：椎野睦先生 ■マネジメント学部教授／学位：博士（心理学）、懇談会／青森
◆10/5 学習会開催「私の勉強方法」■講師 ： 江田夏津稀さん／東京FP学生会リーダー2023年功労賞受賞
◆「SANNOライフ」■講師：三宅ひとみさん／東京FP学生会スタッフ、懇談会／仙台
◆10/6 松島観光ランチ会／宮城松島

2023年秋の短大の入学式、東北宮城学生会のブースで現リーダーの市川さんと出会いました。ポジティブなリーダーから、校友会の先輩方はとても勉強熱心で素敵な方が多く、感銘を受けているという話を聞いて、自分もその一員になりたいと思い勉学に励んでいます。今回、東北宮城学生会の副リーダーを経験させていただく機会に恵まれ、たくさんの方々に支えていただきながら学生会の活動を行っています。本当に人と人とのつながりの大切さを感じています。この東北の地で、仲間たちと楽しい思い出がたくさん作れるよう、東北宮城学生会を盛り上げていきたいと思っております。まだまだ未熟な私たちですが、温かい目で見守っていただければ幸いです。

副リーダー　畠山 真紀



畠山 真紀さん　市川 真理子さん

私が2023年の秋に短大へ入学し初めて学生会イベントに参加させていただいた当時は東北宮城学生会が発足し再開したばかりで、学生同士よりも校友会の大先輩方と交流する機会をいただいていました。先輩方の志高い背中を追えることを嬉しく感じながら、考え方や生き方について学びを得ていました。早いもので1年と半年が過ぎ私自身が東北宮城学生会のリーダーとして信頼に預かり、活動の場を与えてもらっていることが感慨深く、温かいご支援に感謝でいっぱいです。私自身と同じように不安を抱えて入学してくる学生に活力と活躍の場が与えられるような頼もしい学生会に育てていきたいと思っています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

東北宮城学生会リーダー　市川 真理子

令和7年度年間計画

★マークは要予約です
詳細は右記二次元コードを読み取りまたは下記メールアドレスよりお問合せください。
校友会の皆様もお気軽にご参加ください!どなたさまも待ってっちゃ!

東北宮城学生会：tohokumiyagi.group@gmail.com

予定時期	活動内容
4月	【27日】前期入学式：学生会紹介ブース／懇親会(東京)
5月	【10日】新入生歓迎会：zoom
6月	【中旬】学習会：MBTI(候補)　---★
7月	【12日】科目修得試験対策：zoom
8月	【中旬】遠足(岩手県盛岡市)学習会／懇親会：企画募集　---★
9月	【中旬】卒業を祝う会／懇親会:zoom

予定時期	活動内容
10月	【中旬】後期入学式：学生会紹介ブース／懇親会(東京) 【中旬】秋の芋煮会(宮城県仙台市) 八木山ベニーランド　---★
11月	【中旬】新入生歓迎会／懇親会：zoom
12月	【中旬】クリスマスパーティー： 交流会(宮城県仙台市)　---★
1月	【下旬】科目修得試験対策：zoom
2月	【中旬】(総会)役員改選・収支報告・次年度活動計画(仙台)／懇親会---★
3月	【中旬】卒業を祝う会／懇親会：zoom

学生支援部会、後期入学式で学生会支援事業を実施

本年度の代議員会で「プロジェクト」から「部会」へと組織再編された学生支援部会は、10月27日に行われた後期入学式に際し、学生会支援事業を実施しました。この取り組みは、8月に大学の学生会担当課との公式会合を開催し、校友会が学生会や学生会活動を通じて現役学生をどのように支援できるかを議論したことから始まりました。

学生会での充実した経験は、卒業後に校友会活動へ積極的に参加するきっかけとなる重要な要素です。そのため、新入生が積極的に学生会に参加し、仲間との交流やネットワークの構築を図ることが期待されています。また、校友会本部や支部の運営を担う人材を発掘・育成する観点からも、校友会に協力頂ける学生会スタッフは貴重な存在です。こうした目的のもと、今回の事業では、在学生リーダーが率いる3学生会がIVYホールで行った勧誘活動を実務面で、その後の新入生歓迎会を資金面で支援しました。

当日は新入生約70名が来場しましたが、支援対象の3学生会には重複入会者を含め43名の入会がありました。また、それらの学生会が共催した新入生歓迎会には、総勢51名が参加し、そのうち9名が新入生でした。この結果は近年では非常に盛況であり、学生会活動をさらに後押しするものとなりました。

今後も学生支援部会は、現役学生と校友会のつながりを深めるため、さまざまな活動を支援してまいります。

埼玉支部・千葉支部・埼玉学生会・東京FP学生会がコラボ学習会を開催

11月16日(土)、埼玉支部・千葉支部・埼玉学生会・東京FP学生会の共同企画として、「呑んだくれ統計学」をテーマに学習会が開催されました。

第1部では、自由が丘産能短期大学の依田朗裕准教授を講師にお招きして講義が行われました。内容は、偏差値の求め方を実際に計算するという一見硬派な統計学ながら、日本酒にまつわるユニークなクイズ形式で、参加者同士が競い合いながら学べる構成となっていました。若干、計算に熱中し過ぎて酔ってしまった感もありますが、依田先生の飽きさせない熱血な講義のおかげで、大変楽しく学ぶことができました。

続く第2部では、

埼玉支部長で兼任教員の兵道俊美先生が登壇。日本酒の雑学をテーマにしたグループ対抗のクイズに加え、校友会・学生会共に懇親会で役立つモテ男・モテ女になる秘訣に関する軽妙な講義に、大いに盛り上がりました。

今回のセミナーでは、校友会員と学生会員が混成チームを組んでグループワークを行うという貴重な交流の場が設けられました。普段は接点の少ない両者が、グループで打ち解け合い、その後の懇親会にスムーズにつながったことが、イベント全体の成功に大きく貢献しました。

参加者の中には「校友会のことがよく分からず、謎の存在でした」と話していた方が、すっかり打ち解け、支部に入会されたというエピソードも。さらに、オンラインスクーリングが主流だからこその以下のような感想が寄せられました。「学校で開催される学習会に参加するのは初めてでしたが、仲間と直接会うことで元気をもらえました。学校での講義も先生の面白さも、仲間たちの活躍や一緒に学べる楽しさもすべてが刺激的で、明日からの勉強をまた頑張ろうと思いました。」

このような感想は、校友会支部として卒業生や在学生が共に集える交流の場を設ける意義を改めて感じさせてくれるものです。

今後もこうしたコラボレーションがさらに広がり、校友会と在学生の交流がより一層深まっていくことを期待しています。

next collaboration

酒蔵めぐり

気軽にご参加ください♪

群馬支部・埼玉支部コラボ告知

2025年(令和7年)11月15日(土) に、群馬支部・埼玉支部のコラボ企画として、

酒蔵見学会を開催予定です。

埼玉支部の兵道支部長は、母校でも酒の講座をお持ちになり大人気となっております。お酒の事が詳しいと存じますので、どんな酒蔵を見学させていただけるのか、大変楽しみにしております。
群馬支部・埼玉支部共にお気軽にご参加下さい。詳しくは各支部事務局へお問い合わせください。群馬・埼玉はもちろんのこと他支部からのご参加を、お待ちしております。

◎中四国ブロック合同イベント開催◎

日本酒勉強会と酒蔵見学

中四国ブロックは合同企画第一弾として、2024年(令和6年)5月18日(土)に日本の三大名醸地である広島県東広島市西条において、日本酒の勉強と酒蔵見学イベントを開催。
西条で150年続く歴史ある賀茂鶴酒造での杜氏による酒蔵案内では、杜氏ならではの貴重な話を聞くことができ、日本酒の奥深さを堪能いたしました。20名を超す参加者での第一弾イベントは大変盛況で、あっという間の一日となりました。

各支部からの声

広島支部　酒井事務局長
兵道講師より日本酒醸造の基礎知識を学び、賀茂鶴酒造さんを見学し杜氏が食していた「美酒鍋」を堪能した大満足の1日でした。

山口支部　麻生事務局長
日本酒の勉強会や酒蔵見学に懇親会と、とても素晴らしかったと感服しております。

山口支部　森岡理事(現支部長)
イベントを通じ、日本酒の魅力を再認識すると共に全国の仲間達との繋がりを感じることができました。

四国支部 森松支部長
改めて、会って話をすることの大切さや、話す事で新しい知恵を頂けること、そして仲間がいることに感謝いたします。これからも皆様と一緒に校友会を楽しめる場所にしていきます。

次回予告

2026年(令和8年)1月11日(仮)に第二弾・中四国合同イベントを山口県にて開催!
詳細は校友会ホームページで発信致します。

茨城支部一泊会・群馬支部30周年記念総会とコラボ企画

伊香保温泉の「ホテル松本楼」に泊まろう

2024年(令和6年)6月29日(土)に、茨城支部一泊会・群馬支部30周年記念総会とコラボ企画として「伊香保温泉のホテル松本楼に泊まろう」を実施しました。
内容としては、下仁田町の『下仁田納豆』の南都さんの「恩返しから本送り」という講演をしていただきました。懇親会・2次会・3次会に上毛カルタをし、大いに盛り上がりました。翌日は、卯三郎こけし絵付体験、昼食には水沢うどんを食しました。
茨城支部3名、群馬支部10名の参加でしたが、参加した方からは「楽しかった」とのご意見をいただきました。近隣支部等からもたくさんのご参加を頂き感謝いたします。

第27回校友大会のご案内

Ⅰ部・Ⅱ部・通教校友会合併50周年記念
～卒業生のつどい～

今年は短大にあった3つの校友会が合併して50周年となります。
これを記念して母校自由が丘キャンパスからほど近く、学生時代に皆さんが利用した東急・東横線の渋谷にある「セルリアンタワー東急ホテル」にて校友大会を開催します。
講演会では自由が丘産能短期大学学長の池内健治先生に、創立者である上野陽一先生の「能率の学び」についてご講演いただきます。
懇親会では着席にて、ゆったりと一流シェフのフランス料理を堪能しながら旧交を温め親睦を深めましょう。

開催日　2025 年 10 月 4 日（土）

会　場　セルリアンタワー東急ホテル　ボールルーム昴
東京都渋谷区桜丘町 26-1

受付開始　15 時 30 分

講演会　16 時 00 分～ 16 時 40 分
自由が丘産能短期大学学長　池内健治先生
演題「陽一先生と能率の学び」
創立者である上野陽一先生の足跡をたどりながら先生が礎をつくられた「能率の学び」について考える機会を持ちましょう。

懇親会　17 時 00 分～ 19 時 00 分　着席式（150 名）
フランス料理コースメニュー
※着席式の為、席数限定となります。先着順となり 150 名に達し次第締め切りとさせていただきます。
※講演会のみの参加はできません。

参加費　10,000 円　※早期払込みで 2,000 円割引となります。
6/30 までの払込みは 8,000 円　7/1 以降の払込は 10,000 円

参加申込み・支払い方法：QR コードを読み込み、応募フォームより必要事項を入力してお申込みください。

※ QR コードが読み込めない方は右記 URL から申込をお願い致します。　https://x.gd/BUXta
※先着順の為、ご参加いただけることが確定次第、事務局よりあらためてメールでご連絡しますとともに、「払込取扱票」をお送りいたします。「払込取扱票」が届きましたら２週間以内にご送金ください。（着金をもちまして正式に受理されます）
※事務処理の都合上、クレジットカード払いには対応しておりませんのでご了承ください。

お問い合わせ　短大校友会事務局
TEL：03-3701-0008　FAX：03-3704-9539　メール：tandai@sanno-koyu.jp

第26回校友大会
山形県鶴岡市「愉海亭みやじま」開催報告

第26回自由が丘産能短期大学校友大会は、2024年9月28日(土)、29日(日)の2日間にわたり開催され、学校法人産業能率大学の上野理事長をはじめ自由が丘産能短期大学 池内学長、産業能率大学通教校友会 持木会長にもご参加いただき、ご来賓の方々を含め116名の方にご参加をいただきました。

スケジュール		行　程
1日目	13:00	鶴岡公園を散策、その後バスで移動
	15:00 頃	クラゲの展示種類世界最大級(60種類以上)の加茂水族館へ。 直径5mのクラゲドリームシアターは圧巻でした!
	16:30 頃	会場の「愉海亭みやじま」へ。 式典・懇親会前に女将さんのサプライズによる「日本海荒波太鼓」のダイナミックな演舞がありました。
	18:00～	式典・懇親会
2日目	9:00～	翌日ツアー 連続ドラマ「おしん」のロケ地にもなった山居倉庫、豪商の本間家旧本邸を散策しました。 次に出羽三山のひとつ羽黒山にて「奥の細道」で訪れた松尾芭蕉も食したとされる精進料理の昼をいただき、JR利用組はここで帰路に。 飛行機利用組は酒蔵「出羽ノ雪酒造」と、漬け物屋さん「本長」へ見学に行き解散となりました。

式典では、本年度の以下の功労者の方々と優良支部の表彰が行われ、記念品が贈呈されました。

功労者：岩木宗春さん（福岡佐賀支部）、酒井壽喜さん（四国支部）、鈴木眞弓さん（千葉支部）、塚口裕彦さん（静岡支部）、辻村貴惠子さん（神奈川支部）、野田武輝さん（福岡佐賀支部）、渡邉昭さん（北海道支部）
優良支部：神奈川支部

続いて、上野理事長、池内学長、山本会長、中村支部長による鏡開きが景気良く行われ、池内学長からのご挨拶と大杯による乾杯で懇親会が始まりました。

余興の「酒田舞娘」さんの華麗な舞に酔いしれ、しばし歓談し具沢山のカニの甲羅焼や牛ステーキなど豪華な料理は大好評でした。

そして山形県支部の会員の紹介、校歌斉唱となり最後に山形県支部の黒田事務局長による地元の「花笠締め」でお開きとなりました。その後はラウンジでの2次会や各部屋にて昔話が続いたようです。

翌日ツアーでは、酒田市内や出羽三山のひとつ「羽黒山」などを訪れ、それぞれ帰路につきました。

「愉海亭みやじま」エントランス

山形県支部の皆さん。
受付準備に余念がありません

女将さんからのサプライズ
「日本海荒波太鼓」演舞

バス組の皆さんも続々到着

山本会長挨拶

上野理事長ご挨拶

鈴木さん（千葉支部）

塚口さん（静岡支部）

辻村さん（神奈川支部）

渡邉さん（北海道支部）

優良支部表彰として、神奈川支部
（代表して支部長の髙橋さん）

閉会宣言（牛山副会長）

夕日と日本海を背にダイナミックな演舞

最後に、今回の校友大会は4年越しの開催となりました。また、開催1週間前の大雨災害によるJR線運休にも関わらず交通機関のトラブルでのキャンセルはひとりもいらっしゃいませんでした。移動手段の確保と参加者への連絡に事務局の皆様に大変なご負担をいただきました事を改めまして深くお礼申し上げます。

そして「愉海亭みやじま」の女将さんをはじめスタッフの皆さんにも多大なるご協力をいただきました。

早朝よりご協力いただきました山形県支部の皆様、お力添えをいただいた理事の皆様、たくさんの方のご協力をいただき無事終了することができました。

ありがとうございました。

校友大会プロジェクトリーダー　長野政之

山形県鶴岡市
# 第26回 自由が丘産能短期大学校友大会
2024年9月28日(土)・29日(日)

加茂水族館（クラゲの展示は世界最大級！）

開会挨拶（金子副会長）

山形県支部の中村支部長より
歓迎のご挨拶

地元の銘酒「出羽の雪」で鏡開き

乾杯の準備
（中央が女将さん）

大杯で乾杯（池内学長）

酒田舞妓さんの華麗な舞い

余興「じゃんけんぽん、おまわりさん！」で大盛り上がり

歓談の様子

舞妓さんと記念撮影タイム

山形県支部の皆さんより挨拶

長野理事
（校友大会プロジェクト
リーダー）挨拶

閉会挨拶
（山形県支部の
黒田事務局長）

女将で校友の渡會智さん
からのご挨拶

校歌斉唱で
中締めとなりました

校友大会賛助金　ご協力のお礼と感謝を申し上げます

校友大会賛助金のご協力者について

昨年9月、山形県鶴岡市にて開催されました第26回校友大会には多くの皆様から賛助金のご協力をいただきました。
以下にお名前と賛助金口数を記し、ご協力の御礼を申し上げます。

校友大会賛助金（2024年11月6日現在）
◉入金者：38名　　総口数：41口
◉入金額：195,000円

氏　名	都道府県
2口	
首藤　信一 様	青 森 県
関根　和雄 様	埼 玉 県
小山　正彦 様	群 馬 県
1口	
望月　華乃 様	山 梨 県
伊藤　剛 様	山 形 県
谷垣　英信 様	京 都 府
鈴木　壮文 様	東 京 都
長野　政之 様	千 葉 県
小林 由美子 様	山 形 県
港　研二 様	香 川 県
萩谷 みどり 様	茨 城 県
大川　義和 様	千 葉 県

氏　名	都道府県
細川　正智 様	宮 城 県
藤澤　勝彦 様	岡 山 県
和田　憲一 様	大 阪 府
平石　俊夫 様	新 潟 県
塚口　裕彦 様	静 岡 県
柏原　大学 様	富 山 県
佐藤　利雄 様	岩 手 県
奥田　浩子 様	鳥 取 県
辻村 貴惠子 様	神奈川県
髙橋　国夫 様	神奈川県
鈴木　眞弓 様	千 葉 県
中井　広美 様	東 京 都
春藤　丈弥 様	青 森 県
関根　生夫 様	千 葉 県

氏　名	都道府県
五十嵐　巌 様	山 形 県
渡邉　昭 様	北 海 道
種村　麻美 様	新 潟 県
鈴木　健司 様	山 形 県
町田　幸代 様	東 京 都
大場　優光 様	北 海 道
北原　雅人 様	大 阪 府
金子　絵美 様	神奈川県
その他	
髙山 多喜子 様	静 岡 県
秋山　幸子 様	山 形 県
兵道　俊美 様	埼 玉 県
茂田 真由美 様	群 馬 県

代議員会報告

第43回定期代議員会は、2024年6月22日(土)13：00～14：50　自由が丘キャンパス7号館3階7301教室 およびオンライン会議(Zoom)を利用したハイブリッド形式で開催されました。

現地会場には池内会長をお招きし、辻村副会長の開会宣言後、馬場副会長の議長選出により指名された牛山副会長が議案書の内容について説明を行いました(表決は全て書面決議により実施)。

最後に、報告事項として第26回校友大会式典における表彰についての選考発表があり、功労者及び優良支部が表彰されることとなりました。

第44回定期代議員会は、**愛知県名古屋市**で行います。今後とも校友会活動にご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

◎2023年度　収支決算報告書（自2023年4月1日～至2024年3月31日）

【収入の部】　（単位：円）

		収入予算	収入実績	過不足	備考
前年度繰越金		109,562,893	109,562,893		
本年度収入	通信教育課程入会会費	19,000,000	12,880,000	−6,120,000	1万円×1,288名
	校友大会参加料収入	500,000	571,000	71,000	
	校友大会賛助金収入	100,000	184,000	84,000	
	校友会運営賛助金(会員から)	290,000	223,000	−67,000	
	その他収入(利息他)	1,000	980	−20	
本年度収入小計		19,891,000	13,858,980	−6,032,020	
特別収入【①】	校友会運営補助金(法人から)	4,920,000	4,920,000	0	
	支部･グループ活動支援積立金充当	2,380,000	0	−2,380,000	
収　入　合　計		136,753,893	128,341,873	−8,412,020	

【支出の部】

費　目	項　　目	支出予算	支出実績	予算残高	備考
1 経 常 費	事務局通信費	200,000	134,052	65,948	
	理事会会議･会場費	550,000	1,117,572	−567,572	理事会参加者の交通費等
	事務用消耗品費	100,000	109,655	−9,655	はがき･ファイル代等
	諸 雑 費	100,000	182,466	−82,466	振込手数料等
	小　　計	950,000	1,543,745	−593,745	
2 事 業 費	代議員会開催費	100,000	631,900	−531,900	功労者表彰盾作成費
	支部･グループ活動支援費【②】	7,300,000	2,447,761	4,852,239	支部･助成金等
	支部･グループ部会活動費	1,700,000	2,228,739	−528,739	支部支援費･支部G訪問経費等
	校友大会部会活動費	1,450,000	1,163,202	286,798	
	交流部会活動費	300,000	13,300	286,700	産能祭関連費用･卒業記念品代等
	広報部会活動費	7,995,000	6,523,929	1,471,071	PATIO制作･発送代等
	IT部会活動費	657,000	364,101	292,899	プロバイダ料･短大HPサイト運用管理費等
	総務部会活動費	1,785,000	282,285	1,502,715	オンライン推進費
	特別事業費	300,000	373,535	−73,535	
	講師招聘費	700,000	25,662	674,338	
	小　　計	22,287,000	14,054,414	8,232,586	
3 支部･グループ活動支援積立金　（【①】−【②】）		0	2,472,239	−2,472,239	
4 予 備 費		500,000	193,190	306,810	
支　出　合　計		23,737,000	18,263,588	5,473,412	
次期繰越金（収入合計−支出合計）		113,016,893	110,078,285		

◎2023年度 貸借対照表　2024年3月31日現在

（単位：円）

借方		貸方		備考
現預金	132,140,184	支部･グループ活動支援積立金	22,061,899	前年度積立金19,589,660円と合算
		次期繰越金	110,078,285	
合計	132,140,184	合計	132,140,184	

Renewal!!

校友会ホームページが新しくなりました!

▼パソコン版

▼スマートフォン版

POINT

- 画面が大きくなりました。
- 文字をちょっと大きめにしています。
- TOPページに全項目を掲載し、必要な情報が探しやすくなりました。

4月中公開予定!!

https://www.sanno-koyu.jp/

2025 Schedule of Activities

2025年度 活動予定

2024年11月末現在 情報提供分

ご参加おまちしてます

群馬支部　2025年5月に支部総会を計画中

東京支部　2025年5月下旬　総会の予定

岩手支部　総会日時：2025年4月26日（土）11：00 ～ 14：00
場　所：北上市内

埼玉支部　総会：開催予定日2025年6月7日（土）

埼玉支部 公式Gメール
sannojc.koyu.saitama@gmail.com
埼玉支部Gメール宛メール作成用QRはこちら→
※24ページのアドレスは受信専用アドレスです。
埼玉支部からの発信はこのGメールからになりますので受信拒否や迷惑メールに入らぬよう受信設定をお願いします。

公式ホームページ
https://sites.google.com/view/webkeyaki/

埼玉支部 公式インスタグラム
https://www.instagram.com/sanno_koyu_saitama/

青森支部
2025年度の支部総会は7月12日（土）午後に前回と同じ青森市リンクモア平安閣にて開催予定です。ぜひ、お気軽にお越しいただければと思います。支部活動へのご意見やアイデアをたくさんお待ちしております。総会後には上手な野菜の栽培法のセミナーを計画しております。会場参加が難しい方には、ZOOMも用意する予定ですので、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

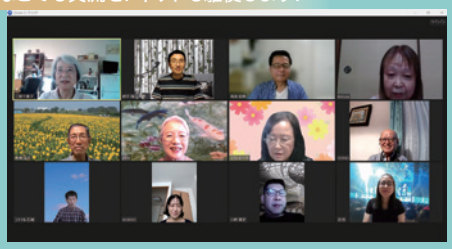
山形支部
総会を2025年10月に開催予定

優良支部賞

神奈川支部の活動紹介

2024年度の優良支部賞は神奈川支部さんが受賞されました。
2023年度では、全国の支部の中で、最も活発に活動され、
年間参加総数が200名を超えられました。
定期的に山登りやお散歩の会、ZOOMを活用した雑談会、
レディース会など様々な企画を一年を通して計画し、
実行されております。

ZOOMなどでも交流を！ ネットも駆使します！



人生100年時代… 死ぬまで成長！

適度な運動でみんなで楽しく健康維持

美しい景色、美味しい食事は豊かな感性を育む…

四国支部

2024年7月13日（土）ホテルアネシス瀬戸大橋にて、中四国ブロック会議終了後に総会、表彰式などの記念式典と記念講演を行いました。
記念講演は、株式会社デンタルタイアップ代表取締役小原 啓子様（産業能率大学通教校友会 広島支部長）による「 第二の名刺を持つパラレルキャリア苦しい時こそチャンスあり!! 」 ―人生を変える経営学と題しましてご講演頂きました。

■感謝状贈呈

長年四国支部を運営して下さった4名の先輩方を四国支部の功労者表彰いたしました。

■懇親会

出席者感動の葛目事務局長によるサプライズスライドショーを披露。事務局長引継ぎの際に届いた段ボールいっぱいのお写真をコツコツとスキャンして感動的なスライドショーを作成してくださいました。

尊敬する女性経営者の小原社長です♡
温かくて包み込むような優しいお人柄、気づきの多い講演でした!

細やかなお心遣い、そして四国への愛情たっぷりのおもてなしです。

みなさま、おめでとうございます!
一緒にお祝いできる幸せを共有できました。温かくて今も社会貢献なさってます。笑顔が素敵♡
四国支部の皆さんに愛されています。

歴史と情熱の
スライドショー

懐かしのスライドショーに大興奮の山本会長。
中四国ブロック会議に参加した支部長・事務局長達もこの葛目さんのご努力と懐かしさに感動していました（泣）。

おめでとうございます。祝

CONGRATULATION

四国支部35周年 群馬支部30周年 関西支部30周年

本年度は、コロナで延期になっていた四国支部35周年のお祝いも開催されました!

群馬支部

2024年10月27日（日）に、三県境（群馬・埼玉・栃木）と大泉町散策を実施しました。三県境については短大ホームページをご覧ください。大泉町散策は毎年4月から11月の第4日曜日に開催されているグルメ横丁では、ペルー・ブラジル・ネパール、もちろん日本などの各国料理が、キッチンカーで売られていてステージでは地元の方々のダンスや歌が披露されていました。昼食では『孤独のグルメ』に出た「レストラン ブラジル」でブラジル料理を頂きました。中でも人気だったのが、シュラスコ!テーブルに来た時は、その高さに圧倒されました。2024年11月10日（日）に、支部女子会を高崎市の「レストラン オリヴィエ」で開催。参加者4名でしたが、うち1名は昨年度から参加されている方で、他のイベントにも積極的に参加されています。美味しい南フランス料理を食し、楽しいひと時を過ごしました。6月29日の群馬支部総会の3次会で行いました「上毛かるた」。県内の小学校・中学校で上毛かるた大会が県大会まであり、群馬の人は例えば頭文字の「つ」と言われれば、すらすらとかるたの言葉が出てきます。その上毛かるたを他県の方々にルールを説明し、群馬の方が読み手・審判をして行いました。残念ながらかるたをしている写真はありませんが、山本会長からは「群馬で毎年やりたい」と、お言葉を頂きました。

関西支部

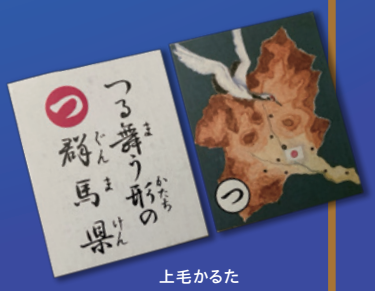
2024年11月17日（日）ホテルプラザオーサカにて関西支部創立30周年記念会が開催されました。詳しくは9Pの関西士会についてをご覧ください。

関西支部レジェンドのご挨拶

孤独のグルメで話題の
地元の大人気店で一す★

一気に3県を制覇してま～す!
（凄～い! ×3）

おしゃれな帽子で楽しんでま～す



上毛かるた

他県の皆さんも遊びにきてくださいね♥

福岡

FUKUOKA

逆境こそチャンスの時!!
講演会&懇親会in福岡

福岡では”ぐるぐるとりかわ”で有名な居酒屋チェーン店「竹乃屋」。講師に竹乃屋（株式会社タケノ）竹野孔社長をお迎えし、4月21日（日）竹乃屋 福岡空港店にて講演会&懇親会を開催致しました。

今回の講演会は、校友会本部が主催して地方で開催するイベントとしては初の企画。校友会初参加の方も多く、卒業されたばかりの方や県外（山口、熊本）からの参加もあり、25名が飛行機の離発着が見える会場に集まりました。

テーマは「逆境こそチャンスの時」。実家の食堂の倒産をきっかけに大学を中退して始めた焼き鳥店が、現在は福岡を拠点に九州全土、大阪、海外も含め55店舗以上のチェーン店に。コロナ禍においてもリニューアルも含め約30店舗を出店するなど、今日に至るまで「決断」の連続だったと竹野社長。判断ではない、意思決定の連続。「逆境こそチャンスの時」と捉え、目標を達成するためには方法で考えるのではなく「決意」すること、目的に対して本気になれるかどうかが全てであり、決めたら「完璧よりもスピード」「正確さよりスピード」行動しなければ答えは出ない、と今日まで自分を信じて決断、そして行動してこられたそうです。講演の中で、私たちの生活や人生においてもとても大切なこと、心に残る言葉をたくさんお話頂きました。

一部ご紹介させていただきます。

- 目標と目的の違いを明確にすること
- 挑戦すれば答えは二つ「成功か学び」（失敗しても学び）
- 頼まれごとは試されごと（役が人を育てる）
- 人生もビジネスも「運・ご縁・ご贔屓（ひいき）」で決まる
- 人間の4つの「究極の幸せ」とは、
  ①人に愛される事、②人に褒められる事、
  ③人の役に立つ事、④人から必要とされる事

九州第二弾は中九州エリア!!! 熊本で2月に開催いたしました。報告はホームページをご覧ください!!!

参加者の皆さんの熱心な傾聴に竹野社長の話も弾み、講演会の後の懇親会では、竹乃屋福岡空港店の美味しい料理を囲んでとても賑やかに、最後は竹野社長による博多手一本で締め、盛会のうちに無事お開きとなりました。ありがとうございました。　（九州エリア担当　竹尾康子）

●竹乃屋ホームページ　https://www.umakamonya.com/　●株式会社タケノ　https://www.takeno.co.jp/

青森

AOMORI

いつも気にかけてくださりありがとうございます!
青森支部がんばってま～す!

パティオがきっかけで支部を立ち上げました!
その後の青森支部です。

再出発から3年目の青森支部は、継続と拡大パート2をテーマとし、会員増強を目標とし活動しています。

近年の卒業生にダイレクトメールを発送し総会とセミナーの案内を発信したり、知り合いに声をかけたりして、7月に青森市で開催した第2回支部総会には17名（内4名はZOOM）の参加があり、少しづつ仲間が増えていることをとてもうれしく思っています。総会後のセミナーには産能大情報マネジメント学部教授の椎野睦先生にお越しいただき、性格タイプから考えるモチマエの再考をテーマにZOOM参加の方も交えて心理テストをしながら、自分のモチマエ、長所を確認でき有意義な時間を過ごすことができたと思います。セミナー後の懇親会は先生もご一緒にワ.ラッセ内の食事処で青森ねぶた、夕暮れの陸奥湾を見ながら地酒や郷土料理を楽しみました。12月には、初めてZOOMを活用した忘年会&元気かいを開催しました。岩手、関西、四国、九州など、各地から参加いただき、各支部の活動状況や今後の抱負を共有することができました。参加者同士の交流を通じて、改めて校友会の楽しさを実感することができました。会員募集中ですのでどうぞお気軽にご参加下さい。

（副支部長　小笠原はるか）

千葉

CHIBA

千葉支部
「旬の枝豆（野田市特産）を愛でる会」開催

6月23日（日）に千葉支部会員の関根さんの（株）関根農園さんにて「旬の枝豆（野田市特産）を愛でる会」を開催いたしました。農園にて枝豆の生育についてご説明をいただき、開設には関根さんも携わられた直売所「ゆめあぐり野田」にて旬の野菜を購入しました。こちらには関根さんの枝豆も陳列されていましたが皆さん良くご存知で「これが美味しい」とパッケージの特徴であるオレンジ色の袋は一番の売れ行きですぐに無くなってしまいました。昼食は地元の名店「懐石料理　かんざ」にて、旬の枝豆御膳を堪能いたしました。その後、こうのとりの里を見学し間近にこうのとりを見る事ができ、収穫したての枝豆を手に野田市駅にて解散となりました。

（支部長　長野政之）

支部総会開催

皆様にご参加いただきありがとうございます

上段から開催日、セミナー講演会タイトル、その他のイベントを記載しています。みなさんも校友会の行事に参加してみませんか。
それぞれの支部への問合せは最終ページのメールアドレスからお願いいたします。

青森支部　2024/7/20

岩手支部　2024/4/27

宮城支部　2024/5/25
(写真は2023年総会)

2024年山形校友大会開催
ご協力ありがとうございました

山形支部　2024/11/24
「エンジョイお腹と心を両方満たす備え」
西尾紋子氏

福島支部　2024/10/12
「福島県のお酒の種類と美味しい飲み方」
兵道俊美先生

秋田支部　2024/8/3

茨城支部　2024/4/27
「群馬の魅力、伊香保の魅力」群馬支部　関口事務局長

その他イベント
- 群馬支部コラボ「伊香保温泉松本楼一泊見学会」
- 施設見学会「やきいもファクトリーミュージアム」

新潟支部　2024/3/2（今年の総会は2025/3/8開催）
「継続は力なり コロナ禍の奇跡!お味噌汁ってオモシロい‼」
新潟支部　川上副支部長

その他イベント
- 女子会<雪椿会>
- 登山
- 研修会

2024
優良支部賞を受賞
(2回目)

神奈川支部　2024/11/9
「映画『君の名は。』に見る日本酒と神事」兵道俊美先生

その他イベント
- レディース会
- 春の交流会
- 暑気払い懇親会
- 山野歩行会 9回
- ぶらりと歩こう会 6回
- ZOOM雑談会 2回
- 勉強会「横浜市防災センター」
  地震・火災体験ツアー、風水害体験ツアー

東京支部　2024/5/26

落語家「林家きよ彦」創作落語2本と福祉の活動についての講演

静岡支部　2024/11/23

「お手軽DIY」
静岡支部　塚口副支部長

その他のイベント
・春の懇親会
・夏の学習会と懇親会

埼玉支部　2024/6/2

「人生を豊かにする終活のススメ
～エンディングノートの活用と効果～」若色信悟氏

山口支部　2025/1/12

「防災セミナー」　防災士　西谷真弓氏

山陰支部　2024/11/23

「私の中の金メダル～大収穫の短大卒業」
山陰支部 田村顧問

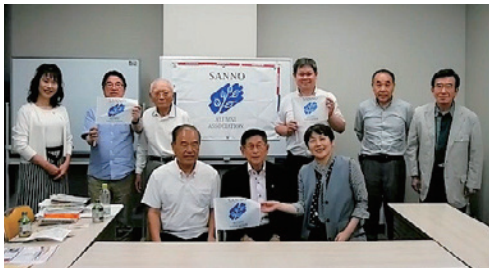
千葉支部　2024/5/11

「地震に備える」仲井圭二先生

その他イベント
・「旬の枝豆を愛でる会」枝豆収穫

岡山支部　2024/10/26

「災害時におけるライフラインと交通インフラ」土屋博之教授



広島支部　2024/6/30

鹿児島支部　2025/3/22
(写真は2024年総会)

福岡佐賀支部　2024/6/29

めぐろ会　2024/12/14

その他イベント
・日本画鑑賞とランチ会　・クリスマスパーティー

沖縄支部　2024/5/12

長崎支部　2024/7/13

中京支部　2024/9/8

「プレゼンテーション」真山 徳人氏

岐阜支部　2025/1/26

4月中公開予定!!
https://www.sanno-koyu.jp/

群馬支部、関西支部、四国支部は、周年総会を開催されています。
20ページで紹介しています。
北海道支部は諸般の事情により総会を開催されませんでした。
総会開催一覧の写真、行事内容は、支部グループが希望された内容で掲載しております。
総会の詳細その他イベントの開催告知、開催報告については、短大校友会のホームページをご覧ください。

シンガーソングライター

元根ひなた

作曲を始めたのは 17 歳のときです。
始めた当時は、「プロ」という言葉は自分の中にありませんでした。
でも、歳を重ね、大学に入り、社会人と関わる機会が増えるにつれて、
視野が広がり世間に対する想いや考えを言葉にしたくなりました。
今は、「若者に大人になることへ希望を持ってほしい」
「大人に子供に戻ることを恐れないでほしい」
という想いで曲をつくり、活動しています。
普段は、町田や海老名、湘南キャンパスがある伊勢原などでライヴを
しています。全国各地を回り、行った先をお客さんでぱんぱんにするのが
私の夢です。
YouTube に曲を載せています。元根ひなたの音楽を知ってやってください。
どこかで会えることを楽しみにしています。
ありがとうございました。

Motoneh Hinata

産業能率大学情報マネジメント学部 3 年　元根ひなた
（湘南キャンパス）
YouTube「元根ひなた」と検索
https://youtube.com/@freedom_hinata?si=1slx3bjEMXa-Fz1K

※元根さんは、10 ページに掲載のクリスマスパーティーに出演してくださいました

支部＆グループのアドレスのお知らせ

あなたの身近の支部では、
行事へのご参加をお待ちしています
【全国 29 支部】

北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島・茨城・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟・富山・長野・中京（愛知・三重）・岐阜・静岡・関西（滋賀・京都・奈良・和歌山・大阪・兵庫）・山陰（鳥取・島根）・岡山・広島・山口・四国（香川・徳島・愛媛・高知）・福岡佐賀（福岡・佐賀）・長崎・鹿児島・沖縄

この他の校友会支部のお問い合わせ先
校友会事務局
メール：tandai@sanno-koyu.jp
FAX: 03-3704-9539

各支部の活動は自由が丘産能短期大学校友会ホームページで迅速に紹介してまいります。併せてご覧ください。

（ホームページ：http://www.sanno-koyu.jp/）

北海道支部	hokkaido@sanno-koyu.jp
青森支部	aomori@sanno-koyu.jp
岩手支部	iwate@sanno-koyu.jp
宮城支部	miyagi@sanno-koyu.jp
秋田支部	akita@sanno-koyu.jp
山形支部	yamagata@sanno-koyu.jp
福島支部	fukusima@sanno-koyu.jp
茨城支部	ibaraki@sanno-koyu.jp
群馬支部	gunma@sanno-koyu.jp
埼玉支部	saitama@sanno-koyu.jp
千葉支部	chiba@sanno-koyu.jp
東京支部	tokyo@sanno-koyu.jp
神奈川支部	kanagawa@sanno-koyu.jp
新潟支部	niigata@sanno-koyu.jp
富山支部	toyama@sanno-koyu.jp
長野支部	nagano@sanno-koyu.jp

中京支部	chukyo@sanno-koyu.jp
岐阜支部	gifu@sanno-koyu.jp
静岡支部	shizuoka@sanno-koyu.jp
関西支部	kansai@sanno-koyu.jp
山陰支部	sanin@sanno-koyu.jp
岡山支部	okayama@sanno-koyu.jp
広島支部	hirosima@sanno-koyu.jp
山口支部	yamaguchi@sanno-koyu.jp
四国支部	shikoku@sanno-koyu.jp
福岡佐賀支部	fukuoka-saga@sanno-koyu.jp
長崎支部	nagasaki@sanno-koyu.jp
鹿児島支部	kagoshima@sanno-koyu.jp
沖縄支部	tandaiokinawa@sanno-koyu.jp
中九州支部（みなし支部）	nakakyushu@sanno-koyu.jp
めぐろ会（グループ）	megurokaisannou@jcom.zaq.ne.jp

会員所在確認のお願い

近年、会報誌の送付や各支部からの総会の案内などが転居先不明で戻り、連絡困難な方が多数出ております。
転居された方、ご結婚などにより改姓された方は、メール、郵便、FAX でご連絡くださるようお願いいたします。
転居されていなくても、お住いの「郵便番号」「住所地番」が変更になった方も新しい情報をお知らせください。
ご連絡をくださる際は、お名前（旧姓）の記載をお忘れなくお願いいたします。
卒業生の皆様との絆を大切に守るため、何卒ご協力の程お願い申し上げます。

〒 158-8630　東京都世田谷区等々力 6-39-15
自由が丘産能短期大学 1号館　校友会　事務局　Fax：03-3704-9539　　Mail：tandai@sanno-koyu.jp
校友会ホームページ「お問い合わせ」からもご連絡いただけます。

編集後記

今回の PATIO は、校友会、学生会に参加したことがない、そんな方々に向けて、産能短大と校友会の繋がり、校友会各支部の活動、校友会の学生会支援活動、校友会の行う社会貢献事業などを紹介しています。
次の PATIO にどんな記事を載せようか、と考え始めたころ、「ガストロノミって何って先輩から聞かれたで」「能率学って昔私好きだったぁ」「1 号館にベルマーレのユニフォーム飾ってあるやろ、なんで？」「学長は遠くからしかみたことないで」このようなことが編集委員の鳥取の奥田さんとの会話でありました。コロナで一度も対面で授業を受けられなかった皆さん、学校に来たことのない皆さん、母校のキャンパスの 1 号館と 7 号館にサッカーチームベルマーレのユニフォームが飾られている理由、今回は PATIO の中で紹介しています。多数の方にご協力いただき 102 号が完成しました。記事を寄稿してくださった皆様、関係資料の提供校正協力は校友会事務局、学長の写真撮影は産能大広報、建学の精神とガストロノミは奥田さん、ベルマーレは葛目さん、支部コラボは関口さん、みなし支部から特別講演会は竹尾さん、校友大会は長野ＰＬ、学生支援は牛山副会長、代議員会は馬場副会長、支部活動は金子副会長、支部総会及び全体デザインは辻村、記事内に氏名を掲載していないので協力いただいた方を書かせていただきました。編集委員に会長副会長も加わり作り上げました。みんなの思いを載せた PATIO102 号、どうぞご覧ください。（辻村記）

Patio
vol.102　2025年3月発行

発行所　自由が丘産能短期大学 1号館 校友会 事務局　〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15
Tel：03-3701-0008　Fax：03-3704-9539　Mail：tandai@sanno-koyu.jp
●発行責任者：校友会会長　山本裕一　●編集責任者：校友会副会長　辻村貴惠子　●編集委員：関口正浩、奥田浩子、葛目有紀、竹尾康子、短大校友会事務局